

しまね学生インターンシップ(2019夏期) 集計結果【コメント集】

コメント抜粋【参加学生】

問1 インターンシップを経験したことによって、あなたの意識はどのように変わりましたか？

「その他」を回答された方、具体的に記入してください。

- ▶インターンシップ期間中、観光業・宿泊業界の現状と課題について様々な方々から教えていただき、自分の知らないことはまだまだあることを実感したため。(宿泊業・飲食業・大学3年生)
- ▶その業界に持っていた自分のイメージが、いい意味で変わった。(医療・福祉・大学2年生)
- ▶希望している職種を考え直す良いきっかけになった。(宿泊業・飲食業・大学3年生)
- ▶志望する職業につくための行動が具体的に分かったから。(公務・大学2年生)
- ▶地域貢献のあり方について深く考えるようになった。(卸売業・小売業・大学3年生)
- ▶地元の遺産について知り、地元をしっかりと残していけないといけなくて痛感した。(学術研究・専門・技術サービス業)

問3 受入事業所について、印象は変化しましたか？

参加前より良くなった

- ▶インターンシップを通して、企業概要や様々な事業展開について話を伺うことで、地域に根付いた企業の姿を学ぶことができたため。また、社員の方がいきいきと働かれている姿を見て、働きがいのある職場であることが感じられたため。(卸売業・小売業・大学3年生)
- ▶インタビューの機会がたくさん設けていただいたのですが、従業員のみなさんがお忙しい中快く引き受けてくださったり、励ましの言葉をかけてくださったりと優しく暖かい方々ばかりだったため。(宿泊業・飲食業・大学3年生)
- ▶わからないことがあった場合、質問しやすい雰囲気であったから。働いておられる方々が、全員現在の職に満足しているとおっしゃっていたから。(公務・大学5年生)
- ▶外からは分からない業務や現場を見ることができ、この会社についてより理解することができたから。少し期待外れなところもあったが、そういうところまできちんと見せてくださったことも好印象だった。(製造業・大学2年生)
- ▶仕事をしている人たちが自分と同じように得意なこと、不得意なことがあり、全員が完璧ではないからこそ協力することが必要だと感じられたから。(サービス業・大学3年生)
- ▶市役所の方々はいつも1人で静かに事務作業をしていると思っていたが、そうではなく、職員同士で情報交換を行ったりしていた。1つのチームのような雰囲気がして、硬いイメージが変わったから。(公務・大学1年生)
- ▶社員の方々に優しく丁寧に接していただき、どんな質問にも対応してくれたことです。また、会社の様々な仕事現場を見学、体験させてもらい、最後に人事部の方のフィードバックもしていただき、この会社を選んでとても良かったなと思いました。(製造業・大学3年生)
- ▶中小企業だけでなく大手メーカーさんとも取引しており、常に新しい商品を作ろうという想いを感じたからです。地域貢献にも力を入れており、企業と地域との関係を大切にしているところも素敵だと思ったからです。(製造業・大学3年生)
- ▶幅広い体験をさせていただくことができ、多くのことを学びました。参加前は、何をされているのかわかりませんでした。一人ひとりが地域のことを考えて仕事をしておられ、皆さんがいたからこそ島根の文化が継承されていっているのだとわかったからです。(サービス業・大学3年生)

参加前と変わらない

- ▶会社の内容を知る機会はあまりなく、常にグループワークだったため。(製造業・大学3年生)
- ▶想像していたよりも小さな会社だったが、しっかりしたところだった。(学術研究・専門・技術サービス業・大学3年生)
- ▶想像していた業務と実際やった業務が共通していたため。(公務・大学3年生)

問4 1番学びの多かった体験内容は何ですか？

- ▶地域専門店や量販店への営業に同行させていただいたことです。理由は私が「営業」という言葉を聞いて想像していた商談のような業務だけでなく新商品の陳列や一般家庭への家電の搬入などのような業務もまた営業の仕事なのだということを知ることができたからです。(卸売業・小売業・大学3年生)
- ▶学びの多かった体験内容はホームセンターでの店舗販売業務である。商品補充業務や自転車修理、配達などを通してお客様とのコミュニケーションの仕方や店員さんとのやりとりを通してビジネスマナーや地域貢献の方策について考えることができたため。(卸売業・小売業・大学3年生)
- ▶観光施設や地域の方とお話している職員の方々を見て、信頼を深めることはとても重要だと改めて気付いたため。観光施設を訪問し施設の方とお話をする活動は学びが多かったです。(公務・大学1年生)
- ▶企画提案書の作成。この業界だけでなく、他の業種であったとしても社会人として働く際に生かしていけそうなことを学べたと感じたから。(情報通信業・大学3年生)
- ▶松江歴史館に取材に行かせていただいたことです。新聞記者という仕事に対して、なんとなくイメージしていたものが体験をさせていただくことで非常に明確なものになったからです。(情報通信業・大学2年生)
- ▶制作課の業務を体験させていただき、ロケを行ったときに店の業務やお客様の邪魔にならないように常に周囲に気を配ったり、悪天候の中では、素早く判断して、全員に指示が通るように臨機応変な対応をされていたのがとても印象的でした。(情報通信業・大学1年生)
- ▶接客。お客様の商品知識が物凄かったり、我が強いお客様に商品のことを聞かれたときに対応するのが難しかったが、同時にやりがいも感じた。(卸売業・小売業・大学2年生)
- ▶店舗内での販売業務です。インターンシップ期間中は研修生という名札を付けていますが、お客様にとってはエプロンを着ている限り、従業員であって、すべての行動に責任をもって仕事を行う必要があることを学びました。(卸売業・小売業・大学2年生)
- ▶塗装を実際に体験させてもらったことが1番印象に残っています。やはり見ているのと実際にやるのでは全然難しさが違い、職人さんの技術力の高さに改めて驚きました。(建設業・大学3年生)

しまね学生インターンシップ(2019夏期) 集計結果【コメント集】

コメント抜粋【参加学生】

問5 インターンシップに参加する前と後で、島根県内での就職への関心はどのように変わりましたか？

関心度が上がった回答

- ▶私が生まれ育った島根県で市民の方の手助けが少しでもできるのなら嬉しいことだと感じました。またもっと市や町を活気のあるところにするために力になりたいと強く思いました。(公務・大学3年生)
- ▶私は県外出身なのですが、島根県で1週間過ごすなかで県民の人の良さを強く感じました。思いやりに溢れた、過ごしやすい町という印象に変わりました。(公務・大学3年生)
- ▶島根で就職するということを具体的に考えるようになり、より地域に根付いた仕事がしたいと感じるようになった。(卸売業、小売業・大学3年生)
- ▶島根県にも面白い企業や、自分の持っている力や考えを出していける企業があるなど感じました。これからは、自分の興味のあるなしに関わらず広い視野を持ち、もっと多くの企業を見てみたいと思います。(卸売業、小売業・大学1年生)
- ▶もともと島根での就職を考えており、今回、1ターンの方の島根で働く姿も見てとてもかっこよく、地元の者としても負けず島根と寄り添いながら働きたいと思ったから。(サービス業・大学3年生)
- ▶もともと島根で働くことに対する意欲は高かったが、職員の方に島根で働くことの魅力を伺って長く働きやすい環境があるという、新しい一面も知ることができたから。(医療、福祉・大学2年生)
- ▶参加する前は島根県で働きたいという漠然的な考え方しかしていなかったが、今回参加したことにより、島根県内でこのように働きたいというイメージができたため。(サービス業・大学3年生)
- ▶島根県をよりよくするためには、私たちの世代が新しい改革を主導していく必要があると感じ、県内で就職することで私もその一員として活躍したいと思ったから。(建設業・大学2年生)

問7-2 インターンシップ体験の満足度はいかがでしたか？

満足

- ▶インターンシップに参加させていただいたことによって社会人として働くためには、言われたことだけをやるのではなく、常に自分がどのような行動をすれば良いのか考え実行する必要があるということを知りました。このように直接仕事の現場でしか知ることのできないことを知ることができて良かったと思っております。また今回のインターンシップにおいて、明るく振る舞うということを自分なりに意識したつもりではあったのですが、より明るく元気に振る舞うことが必要だということが今回の反省点となりました。(卸売業、小売業・大学3年生)
- ▶5日間という短い期間ではあったが、社会の一端を知れた。興味を持っている業界について、理解を深めることができた。一番の収穫は、大学でやっていることは社会人に求められるスキルに繋がるということに気づけたこと。(建設業・大学4年生)
- ▶インターンシップに参加してとてもいい体験ができたと思う。今までは自分の関心の近い企業にしか目を向けていなかったが、もっと日々の業務内容、向き不向き、自分の価値観などと照らし合わせて企業選びをしていきたいと思った。(学術研究、専門・技術サービス業・大学2年生)
- ▶インターンシップ期間中に自分のことについて知ることを目的に参加しました。やっていく中で一つ一つ真面目に取り組むことができたり、グループ内での協調性を図ることができるなど今まで知らなかった自分の長所を見つけ出すことができました。また、時間行動ができていないなど今後直していく課題が見つかったからです。様々な企業を訪問することで、自分の就活の選択肢が広がったことも良かったです。(サービス業・大学3年生)
- ▶グループワークを行った際は他大学の生徒と意見交換を行いどんな考えを持っているのか自分にはないものを持っているかを確認・吸収することができました。また、社会で働く方々を目の前で見ることで自分のモチベーション向上にも繋がりました。(金融業、保険業・大学3年生)
- ▶その業界を知るだけでなく、実際に働くということをイメージできるので、自分にあっているのかなど考えるきっかけになりました。働くとはどういうことなのかなど、自分を見つめ直すきっかけにもなりますし、ほどよい緊張感の中、大人に混じって生活してとてもいい経験になりました。(公務・大学3年生)
- ▶わたしはふたつの企業のインターンシップに参加したのですが、ひとつの企業ではなくふたつの企業に参加してよかったと思いました。理由は、企業それぞれの良さや空気間、また、違いを理解することができたからです。この体験は、就職活動に活かして行けると思いました。(卸売業、小売業・大学3年生)
- ▶参加させていただいて今後自分がどのようになっていきたいか考えるきっかけとなりました。たくさんの方に色々な話を聞かせていただきました。自分が今まで興味のない業種にも興味を持てるようになりました。自分に足りないものをどのように今後補充していくかしっかり考えていきたいです。(サービス業・大学3年生)
- ▶参加して、自分がどこまで通用するか、何が足りないかすぐ理解することができた。インターンシップは職場環境を知るという目的も大事だと思うが、自己分析の材料になるという点でも大切だと感じた。(公務・大学3年生)

やや満足

- ▶最初、5日間のインターンシップは長いと感じたが、日程がしっかりと組まれており、最初に社長の考え方を知り、次に社員の方のお話を聞いて社長の考え方が反映されているか、実際を知ることができた。内容の濃い5日だったと思う。(建設業・大学3年生)

しまね学生インターンシップ(2019夏期) 集計結果【コメント集】

アンケートコメント抜粋【受入事業所】

問5 学生の實習態度について、具体的にご入力ください。

▶インターンシップの目標が明確にあり、目標達成の為、積極的に取り組んでいた。

最終日には、まとめをしましたが、質問や自分の考えを意見してもらい大変助かりました。(製造業)

▶ものづくりをしてみたいという興味が、態度に表れていたかと思います。社員ともコミュニケーションを積極的に取っており、社員の刺激にもなったかと思えます。(製造業)

▶事前に業務内容を確認しており、明確な目的意識をもって実習に参加されていた。

実習時の挨拶、受け答え、話を聞く姿勢など、一生懸命であり、大変熱心であった。(公務)

▶自分から質問してくる積極性がある学生さんたちでした。挨拶や気遣いもよくでき、コミュニケーション能力に長けていました。

伸ばしていくといいと思いました。とても将来性が期待できる学生さんたちでした。(建設業)

▶素直なうえに、自らが、実施したことについての振り返りや確認をしたり、自分が気づいたことについて、配慮や改善意欲も感じられた。

一つの質問から物事について思考を深めていく様子も見られ、多角的に物事をとらえることができていた。(サービス業)

▶大変真面目で、受け答えなどもきちんとしていました。ビジネスマナーもきちんとしており、インターンシップに来ていただいて大変助かりました。(卸売業、小売業)

▶実習中(講習時)集中できていない学生さんも見られました。(卸売業、小売業)

問6 貴事業所にとって、今回のインターンシップ受入はいかがでしたか？

▶メンターの新人育成力、指導力向上につながる。社内全体へ及ぼす影響も大きい。

やり方を工夫すべき点もあるが毎回新たな発見ができ満足している。(学術研究、専門・技術サービス業)

▶普段交流する機会がない学生の方と交流することができ、弊社新卒採用の第一歩としてもとても良い活動だったと思えました。

(卸売業、小売業)

▶当たり前に行っている社内での取組み等が、会社の魅力的なポイントだと、学生さんから教えていただきました。

たくさんの気づきをいただくことができ、良かったです。(サービス業)